令和２年度第１回福祉のまちづくり推進協議会　議事録

日時　　令和２年７月16日（木）　１０：００~１１：３０

場所　　ときわ会館　５階　大ホール

配布資料

令和２年度第１回さいたま市福祉のまちづくり推進協議会　次第

令和２年度第１回さいたま市福祉のまちづくり推進協議会　席次表

令和２年度第１回さいたま市福祉のまちづくり推進協議会　委員名簿

資料１　さいたま市バリアフリー専門部会について

資料１－１　特定事業計画の定量的な評価結果

資料１－２　さいたま市バリアフリー基本構想　取組紹介リーフレット（案）

資料１－３　バリアフリー基本構想改定スケジュールの見直し（案）

資料１－４　高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の一部を改正する法律案

資料２　福祉のまちづくりモデル地区推進部会について

さいたま市福祉のまちづくりモデル地区推進事業　活動報告書

資料３　車いす使用者用駐車施設の青色塗装について

資料４　心のバリアフリー促進啓発事業について

資料５　さいたま市福祉のまちづくり推進指針の改定について

資料５－１　さいたま市福祉のまちづくり推進指針（素案）

資料５－２　さいたま市福祉のまちづくり推進指針　新旧対照表（案）

資料６　交差点安全対策の整備方針について

参考資料　さいたま市福祉のまちづくり推進協議会について

出席委員（敬称略・五十音順）

稲垣　具志	中央大学 研究開発機構
納　美恵子	さいたま市老人クラブ連合会
國松　公造	ＮＰＯ法人　埼玉県障害者協議会
栗和田　敏	公募委員
桑田　仁	ＮＰＯ法人　都市づくりＮＰＯさいたま
小泉　勉	さいたま市建設局土木部
作山　康	芝浦工業大学　システム理工学部　環境システム学科
武田　博	公募委員
土屋　愛自	さいたま市都市局都市計画部
中村　満良	さいたま市保健福祉局福祉部
長畑　哲也	さいたま市教育委員会事務局管理部
西澤　正夫	さいたま市保健福祉局長寿応援部
原田　元康	さいたま市建設局建築部
藤崎　明美	ＮＰＯ法人　さいたま市視覚障害者福祉協会
町田　健一	さいたま市聴覚障害者協会
三須　亜由美	一般社団法人　さいたま市私立保育園協会
八島　健	さいたま商工会議所　総務・会員サービス部
山口　明子	一般社団法人　さいたま市手をつなぐ育成会

代理出席者（敬称略・五十音順）

小野　健司	東武鉄道株式会社　鉄道事業本部　施設部　建築土木課
瀬沼　文弘	埼玉県警察本部　交通部　交通規制課
平　哲治	国土交通省関東地方整備局　大宮国道事務所

傍聴人

０人

【内容】

１．開会

２．報告事項
（１） バリアフリー専門部会について

事務局　　　資料１　さいたま市バリアフリー専門部会について、資料１－1　特定事業計画の定量的な評価結果、資料１－２　さいたま市バリアフリー基本構想　取組紹介リーフレット、資料 1－3　さいたま市バリアフリー基本構想改定スケジュールの見直し（案)、資料1－4　高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の一部を改正する法律案の説明（省略）

（２） モデル地区推進部会について

事務局　　　資料２　福祉のまちづくりモデル地区推進事業、さいたま市福祉のまちづくりモデル地区推進事業　活動報告書についての説明（省略）

國松委員　　わたしもモデル地区推進事業に参加させていただきましたが、やはり、生徒の声を引き出すのが難しいというのがありました。グループミーティングの時など、生徒も一様ではなく、なかなかすっと言葉が出てこないので、もう少し時間が取れたらいいなと感じました。
もう一点、プラザイーストで実際にまち歩きを行ったがエレベーターについてですけれども、2 台あって、そのうちの一台のエレベーターの操作盤の位置は低くなっていたが、もう一台はそうではなかった。乗る側からしたら、両方とも同じと思っているところでそういう風になっていたのが、気になってしまった。これまでも地元のまち歩きとさいたま新都心といった福祉のまちづくりが進んでいるところをまち歩きの場所に選んでいるが、その進んでいる場所でも必ずしもすべてが進んでいるわけではないことをしっかり認識しておいた方がよいと思います。

稲垣委員　　この取り組みに関しては、非常に積極的に取り組まれて、他の自治体と比べても、100 数十名規模で、こういったことを、主体的に行っていることは高く評価されるべきところだと思います。その中で報告書の 4 ページのまとめるに、「自分たちがすぐにできることを考える」「知らない人にも教える」といったことが書かれているが、自分たちの生活を通してどうやって活かしていくのかが重要になっていくと考えます。そう思って 13 ページ以降のアンケートを拝見したところ、実際に実践したいといった声も書かれていて非常に良い方

向に向かっているのではと感じました。
次のステージとして、何かしたいという気づきが得られたので、それを実践するようにするためのプランニングをどうしていくのかといったことを主体的に考えられる教育が行われるとよいと思いました。
この事業について、質問が２点ほどあります。
今回、バリアフリーの整備状況が異なる 2 箇所を比較するといったことが書かれていて非常におもしろいなと感じたのですが、どのような意図で行われたのかお伺いしたい。
もう１点、資料１－4 を見ていただきますと、国がバリアフリー法の改正を短期間に 2 回行ったのですが、バリアフリー基本構想の中で心のバリアフリーに関する教育の啓発を考えましょうといっているのですが、さいたま市としてどのように国の要請に応えていくのかお伺いしたい。

事務局　　１点目につきましては、大牧地区とプラザイーストで行いましたが、大牧地区については、児童が通学する経路で、実際にどういったバリアフリーの状況となっているかを、プラザイーストについては、さいたま新都心に比べ劣るところもあると思いますが、プラザイーストの中にあるバリアフリーの機能を子供たちに経験していただいたというところになります。
２点目、教育啓発特定事業についてですが、今のところ、モデル地区推進事業をどのように関連させていくか、検討はしておりません。

作山会長　　モデル事業を行っているさいたま市のほうが国の改正した法律より先に事業を実施し、進んでいるというところになっているというところですかね。
他になにかございますか。

桑田委員　　モデル地区推進事業について補足します。これまでは、さいたま新都心で行っておりましたが、学校の授業運営の関係で移動時間がとれないという事情もありまして、プラザイーストで行いました。

（３）　車いす使用者用駐車施設の青色塗装について

事務局　　資料３　車いす使用者用施設の青色塗装についての説明（省略）

（４）　心のバリアフリー促進啓発事業について

事務局　　資料４　心のバリアフリー促進啓発事業についての説明（省略）

３．議事　さいたま市福祉のまちづくり推進指針の改定について

事務局　　資料 5　さいたま市福祉のまちづくり推進指針の改定について、資料５－１ さいたま市福祉のまちづくり推進指針（素案)、資料５－２　さいたま市福祉のまちづくり推進指針　新旧対照表（案）について事務局より説明（省略）

稲垣委員　　新型コロナウイルスの感染症の拡大の影響に関して、新しい生活様式が求められているところ、福祉のまちづくりの観点からもどのような形で当事者ならでは悩みについて考えていくのか、指針に反映はしないのか伺いたい。

事務局　　福祉のまちづくりについても、新しい生活様式が求められていくことになると思いますが、現状のところ、整理できていないところもあり指針の中に取り込む予定はございません。今後については、状況に応じ検討していかなければならないと考えております。

稲垣委員　　改定時期の記載について無くすというところ、柔軟な見直しを行う必要がある場合に改定を行うとのことでした。今はコロナウイルスについて情報収集しないといけない状況で具体的にどういう対策をとるとかそこまでは分からないので書くことはできないと思うのですが、何もしていないように見える状況にしない方がいいのではないかと思います。意思決定は事務局にお任せしたいと思います。

桑田委員　　推進指針（素案）の５ページの具体的方針のところですが、施策の方向の記載については、①が広報･PR の展開、②が市民参加の促進となっておりますが、逆の方がよいのではないかと思います。まず、市民参加の促進をして、その後に広報・PR の展開ということかと思います。

事務局　　ご意見としていただき、検討させていただきたいと思います。

作山会長　　パブリックコメントの後に、もう一度、推進協議会を開催する方向ということでよろしいのか。

事務局　　令和 2 年 12 月から令和 3 年 1 月の間で考えております。

作山会長　　いくつかご意見をいただきましたが、事務局から考えとしては何かありますか。

事務局　　本日いただいたご意見を踏まえて、整理し修正案を作成させていただきます。修正案の承認については、作山会長に一任させていただきたいと考えております。

作山会長　　委員の皆様いかがでしょうか。
それではそのようにさせていただきます。

４．その他

交差点安全対策の整備方針について

事務局　　　資料６　交差点の安全対策整備方針について事務局より説明（省略）

作山会長　　横断歩道にいるのかな。あと、15 年もすれば、車も人にぶつからない装置、センサー、レーダーがついてくると思うので、緊急避難的のものになるのか。車が真横から入ることを想定している位置に見えるが、実際、車両は斜めから入ると思います。高齢者、障害者、様々な立場からご意見があると思いますが、皆様いかがでしょうか。

藤崎委員　　どこでもあったほうがいいということではないが、視覚障害者としては、あった方がよいのかなと思いました。躓くような高さでなくおなかぐらいに当たる高さがいいのかなと思います。あとは硬いものだと危ないので多少クッション性があるもの、景観にも配慮したデザインのものを考えてもよいと思います。

國松委員　　どこまでやったらいいのかという話になると思います。

車は暴走すればガードレールなんかあっても突っ込んでいけるものです。

歩行者側の安全だけでなく、車そのものをどうするかというところも問題としてあると思います。

稲垣委員　　いくつか視点があり、これに対する評価は様々。行政としては様々な意見がある人たちにきちんと説明できるように、情報の整理が必要。車線の多い箇所に置くというのではなく、車、歩行者の交通量等を調べて設置した方がよいのではないかと思います。当事者だけでなく、一般の方にも影響があるので、設置理由についてなぜそこに必要なのか説明できる資料を作成した方がよいと思います。

浮間舟渡の駅前にも交差点にボラードを設置する場所がありますが、明らかに車が進入してきそうで説明はできます。

それから、歩道と車道の間に２ｃｍの段差があるところから３０ｃｍ以上離れることがないようにする必要がある。間にボラードを設けることによって５０ｃｍとか離れることになると視覚障害者にとって非常に危険な状態になってしまうので注意してください。

あと、自転車横断帯がある場合について、自転車横断帯と横断歩道のゼブラの間に立てるのかもしれませんが、自転車の動きに注意しないと歩行者と自転車の錯綜がボラードの周りで起きやすいと思うので注意する必要があります。

作山委員　　駅前等の歩行者交通量が多い地域には注意がいると思います。そういったところでは後付けで設置されるとクレームになるかもしれません。

また、朝方の交通が多いとき、まだ、自転車のマナーも守られていない中で、

ここに自転車も入ってくると、見えなくてぶつかったりという混乱もあるので、歩行者交通量が多いところについては注意する必要があると思います。

三須委員　子供たちにはガードレール、縁石についてここから先には行ってはいけないとかそういった交通ルールを教えているところです。今回、安全を守るためということで、こういった話が出てきましたが、子供たちは混乱してくると思います。地域の住民の方にご協力いただいて、何か所かやってみて、意見を聞いて本当に必要なところに設置していき、安心安全な街を作っていくといいのかなと思います。

平代理委員　貴重なご意見ありがとうございます。
本件については国土交通省本省より、各自治体へ通知させていただいたところでございます。
国土交通省でも昨年度補正予算や本年度以降の予算を用いて、未就学児の安全対策並びに小中学校通学路の安全対策の対応をさせていただくというところです。
今回対策を考えているのは、直轄道路における通学路、保育園児が散歩コースで通るような交差点について対策を施していこうと考えています。
先ほどから様々なご意見いただきまして、地域の方の声を聞きながら進めてまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

稲垣委員　散歩のコース、通学路という話がありましたが、ある日当然、ボラードが設置されていたということがないように、当事者にきちんと情報提供をしないといけないと思います。

作山会長　取り外し可能なものを仮に設置してもよいのかなと思います。それを必要なければ外すとか。時間帯によって取り外しをしたりとか。そういったことも考えていいのかなと思います。
それでは交差点の安全対策については以上になります。

作山会長　その他に何か委員の方から何かございますか

町田委員　JR の埼京線の駅なのですが、北与野駅、与野本町駅、南与野駅の 3 駅について、朝、駅員がどなたもいらっしゃらないので、何かあった時にインターホンで対応するようなのですが、聴覚障害があると聞こえませんし、ご対応いただけますでしょうか。

事務局　いただいたご意見については、他の方からも同様の意見もあり、交通政策課より JR にも伝えさせていただきます。

國松委員　そういう話をすると人員不足という話になるがこれは意図的に人を減らしているのです。そういう人減らしの考え方について話をしていかないと解決にはならないのかなと思います。

稲垣委員　関連して、情報提供させていただきます。成田空港でユニバーサルデザインをすごく推進しています。第3ターミナルのエレベーターの中にSOSボタンがあり、大型のモニターをつけて、手話のできる方を見せることができるようになっています。少しお金はかかるが。人員を配置するよりは安いです。
他に、手話ホンというのがありまして、google 等で検索するとすぐに出てくるので検索してみてください。

作山会長　精度のあらはあるが、話しているものを同時通訳できたり、近年ものすごく便利になったし、ユニバーサルデザイン、バリアフリーの装置として快適に使えるようになってきたので、日本のハイテクを駆使するともっと便利になると思います。

５．閉会